

バキ  
クセイ  
ツリカ

# 流体音も高速計測

## 多点圧力変換器を開発

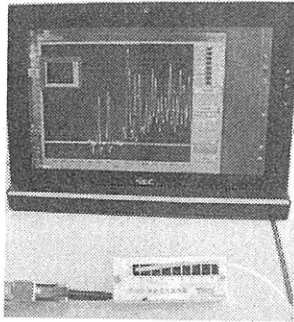
【水戸】ツクバリカセイキ(茨城県つくば市、中山俊明社長、029・864・8230)は、小型・低価格で、高速計測が可能な多点圧力変換器(写真)を開発した。

風洞水槽試験装置の製作技術などで培った制御ソフトウェア技術を生かした。変換応答時間は0・

0005秒で、既存製品に比べて約400倍速い。流体分野で課題になっている流体音も計測できる。価格は計測ユニットを含めて30万円。自動車の後流やノートパソコンのファンの騒音などの計測用途を見込む。年間50台以上の販売を目指す。

測定できるため、計測の質を高められる。標準器は測定箇所が8点で、測定精度の高い7孔ピトー管にも対応する。

近年、流体解析(CFD)によるシミュレーションの補完として流体計測装置の市場が成長している。ただ圧力分布は計測できなかった。このため、CFDの実証装置の製造を視野に入れて年内にも計測ロボットと動作修正のソフトウェアを開発し、試作機の完成を目指す。価格は400万円程度になる見通しで、2014年度に実用化する計画。



流体計測器のピトー管を採用した。風向、風速を計測する既存の熱線式風速計やレーザー流速計とは異なり、圧力分布も

ヨンの補完として流体計測装置の市場が成長している。ただ圧力分布は計測できなかった。このため、CFDの実証装置の製造を視野に入れて年内にも計測ロボットと動作修正のソフトウェアを開発し、試作機の完成を目指す。価格は400万円程度になる見通しで、2014年度に実用化する計画。